

I. 食品中のニバレノールの含有濃度実態調査

(平成 29 年度調査結果)

○対象

コーングリッツ、コーンフレーク、コーンスナック、ベビーフード、国産小麦粉、海外産小麦及び海外産大麦

○分析方法

LC-MS/MS 法

○結果

(単位：μg/kg)

品名	調査数	検出数*	平均値**	中央値**	最大値	最小値
コーングリッツ	14	0	-	-	-	1
コーンフレーク	10	3	4	2	6	1
コーンスナック	26	2	14	14	24	1
ベビーフード	15	0	-	-	-	-
国産小麦粉	20	6	7	5	17	1
海外産小麦	120	46	8	5	53	2
海外産大麦	33	9	57	39	121	10

検出下限値：1 μg/kg、定量下限値：2 μg/kg

*定量下限値を超える濃度で検出された試料の数

**検出下限値以上の平均値および中央値

参考：ニバレノール・デオキシニバレノールに関する規制

カビ毒名	Codex	日本
ニバレノール	なし	なし
デオキシニバレノール	加工向けの穀粒（小麦、大麦、トウモロコシ）	2000 μg/kg
	小麦、大麦、トウモロコシを原料とするフラワー、ミール、セモリナ及びフレーク	1000 μg/kg
	乳児用穀類加工品	200 μg/kg
		暫定規制値：1.1 mg/kg (1100 μg/kg) 基準値案（平成 29 年 9 月部会で了承）：1.0 mg/kg (1000 μg/kg)

Ⅱ. 食品中のフモニシンの含有濃度実態調査

(平成 29 年度調査結果)

○対象

コーングリッツ 14 検体、コーンフレーク 10 検体、コーンスナック 26 検体

○分析方法

LC-MS/MS 法

○結果

(単位 : $\mu\text{g}/\text{kg}$)

品名	調査数	カビ毒*	検出数**	平均値 ***	中央値 ***	最大値	最小値
コーングリッツ	14	FB ₁	14	112	61	444	11
		FB ₂	14	27	11	132	2
		FB ₃	14	15	9	57	2
		合計	-	154	81	633	15
コーンフレーク	10	FB ₁	9	19	7	79	2
		FB ₂	5	7	6	17	1
		FB ₃	5	3	3	7	1
		合計	-	25	9	103	2
コーンスナック	26	FB ₁	10	7	5	15	1
		FB ₂	6	3	2	9	1
		FB ₃	4	2	2	4	1
		合計	-	10	6	28	1

検出下限値 : 0.2 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 、定量下限値 : 0.5 $\mu\text{g}/\text{kg}$

*フモニシン B₁、フモニシン B₂、フモニシン B₃についてそれぞれ、FB₁、FB₂、FB₃と記載

**定量下限値を超える濃度で検出された試料の数

***検出下限値以上の平均値および中央値

参考 : フモニシンに関する規制

カビ毒名	Codex (FB ₁ 及び FB ₂ の総量)		日本
フモニシン	未加工のトウモロコシ粒	4000 $\mu\text{g}/\text{kg}$	なし
	コーンフラワー及びコーンミール	2000 $\mu\text{g}/\text{kg}$	

Ⅲ.ミネラルウォーター類中のフッ素の含有濃度実態調査

(平成 29 年度調査結果)

○対象

国内外の 150 銘柄 (外国産 : 40 銘柄、国産 : 110 銘柄)

○分析方法

イオンクロマトグラフ法

○結果

(単位 : mg/L)

物質名	定量下限値	検出数*	平均値	中央値	最大値	最小値	基準値 超過数
フッ素	0.003(F ⁻)	140	0.15	0.071	1.2	0.0042	0

現行基準値 (食品衛生法) : フッ素 2 mg/L

*定量下限値を超える濃度で検出された試料の数